

## セミナー報告書

催事名	第3回スマートウェルネス・オープンセミナー		
開催日時	2014年2月20日 13時15分～14時40分		
開催場所	公益財団法人都市活力研究所セミナー室（グランフロント大阪 タワーC 7階）		
参加人数	50人	参加者 属性	医療関係者（医療機器メーカー、医者、病院関係者など） 情報系企業、大学関係者、地方公務員等々
開催団体	主催 共催 後援	スマートウェルネス研究会 公益財団法人都市活力研究所 大阪大学臨床医工学融合研究教育センター、大阪府、大阪市、 大阪商工会議所、近畿経済産業局、関西経済連合会	
開催報告	プログラム	<p>(13:15～13:30)</p> <p>活動報告 「癒し養生生活支援サービス分科会」について スマートウェルネス研究会 事務局 卯津羅 泰生</p> <p>(13:30～14:30)</p> <p>「オリィ研究所が目指すコミュニケーションロボット社会」 代表取締役 CEO（ロボットコミュニケーター）吉藤 健太郎</p> <p>(14:30～14:40)</p> <p>質疑応答</p>	
	講演内容 および 講演者 プロフィール	<p>■活動報告 事務局より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本会発足からこれまでの歩みの紹介（セミナー&amp;研究会）</li> <li>・「癒し養生生活支援サービス分科会」の発足</li> <li>・今後の方向性（①医療と食、②医療流通、③災害時保険医療）             <ul style="list-style-type: none"> <li>①第4回「ドクターズキッチン構想とスマートエイジングタウン構想からのイノベーション創出」</li> <li>②第5回「海外&amp;国内の医療流通の新創出」</li> <li>③第6回「災害時保険医療とスマートテクノロジー」</li> </ul> </li> <li>・うめきた発ヘルスケアマガジン「g・d」との連携 (株式会社ファイコム 代表 浅野由裕)</li> </ul> <p>■講演「オリィ研究所が目指すコミュニケーションロボット社会」 (講演者プロフィール) 奈良県出身。小学校5年～中学2年まで不登校。大阪で開催され</p>	

たロボフェスタ関西 2001 にてロボット技術に感動し、工業高校へ進学。奈良県立王寺工業高校にて3年間、電動車椅子の開発に携わり、2005年にアメリカでのインテル国際学生科学技術フェアにてGrandAward 3位を受賞。福祉機器ロボットの道を志す。高校卒業後、工業高等専門学校にて人工知能を学んだのち、早稲田大学創造理工学部へ進学。入院や療養中の精神的ストレスの軽減を目指す癒しロボットの研究開発を独自のアプローチで行っている。2011年からは早稲田大学インキュベーションに入居、製作したロボットやサービスを必要としている人に届ける活動を開始し、株式会社オリエ研究所を設立、現在、代表取締役所長。

(講演内容)

講師の豊富な経験談を織り交ぜながら自身が現在手がけるコミュニケーションロボットがいかに社会に有用なものであるかについて解説した。

経験談の一例。講師は高校時代に電動車いすを開発した。通常、車いすは車道などから段差のある歩道へ移動するのはその構造上難しい。急を要する場合、移動できないと事故にもつながりかねない。これを可能にすべく何度も苦労して開発にトライし成功した。見た目はダサいが安全性が高まり極めて実用的である。(ご本人談)

このような経験を経て、高齢者からいろいろな相談を受けるようになる。孤独、寂しさを感じている人が多いことに気づき、孤独を解消できればと活動を開始する。早稲田入学後、分身型のロボットを開発し、遠隔地での自身の分身としてコミュニケーションを図ることを可能とした。50台開発し、現在、江戸川病院にて実証実験中。病床にいる小学2年生が使用した結果、その家族は子供をより身近に感じたという。寝たきりの人が社会参加でき他人から感謝されることによって生きがいを得られるかもしれない。

ロボット工学の技術の中に人の「生」や「人情」、「生きがい」などに繋がる可能性の種が埋め込まれている。ロボットを使った新しいビジネスや新サービスの展開だけではなく、小学生時代の自身のひきこもり経験により、心の通う暖かいものをロボットに吹き込もうとしているかのようだ。多方面でのビジネスモデルを創出する可能性を秘めたロボットといえよう。

講師は法隆寺近くで、「奈良文化折り紙会」の会長を務め、時々折り紙の会を開催し、普及促進に努めている。現代的なロボット工学を極める傍ら、文化的なコミュニティづくりも同時に手掛けている。

さいごに、質疑応答タイムは、参加者が積極的に意見を述べ、活発な意見交換が出来た。アンケート結果も非常に好評であった。

【開催風景】

